

令和3年第4回芸西村議会定例会 一般質問通告一覧表

一般質問（第2日）：令和3年12月8日（水）

質問者	質問の件名	質問の要旨	答弁を求める者
岡村 俊彰	芸西村生活支援地域振興券と芸西村飲食店支援事業の現在の進捗状況と今後の見通しは	8月1日から使用可能となった芸西村生活支援地域振興券と、10月1日よりスタートした芸西村飲食店支援事業「芸西村で外食ぜよ！」の現段階での進捗状況を問う。また、この両事業の期限はそれぞれ1月31日と2月28日までだが、今後の見通しを問う。	村 長
宮崎 義明	安心・安全対策を	<p>○ かつば市は、当村の代表的な施設の一角を担っているが、来店者の駐車に対する安心性が十分といえるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 村管理のかつば市西側駐車場の白ラインが消えており、駐車しづらいと思うが改善すべきではないか。 ・ 村が和食財産区より借り受けている未舗装の土地は、第2次産業振興計画において新商品開発施設の建設予定地であった。しかし、現在は集落活動センターに同様な目的の施設が完備されており必要性がなくなった。時期的関係も大いにあるが、既存の駐車場が満杯の時があるので、この土地を駐車場として整備してはどうか。 <p>○ 村道路線の安全対策が不十分ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これからの季節は日没が早くなり、児童の帰宅時には村道琴ノ浜線と長谷寄線は通り抜けの車両で交通量が多くなっている。街路灯も歩道もない道路での安全確保は路側の白線に頼るしかないが、せめて通学路に指定してある村道に車道外側線を引くべきではないか。 ・ また、路上にはゴミ箱のケージが設置されているが反射板などを取り付けて通行の安全を図るべきではないか。 	村 長
西笛 千代子	アフターコロナを見据えた、村の観光資源の有効活用について	<p>○ 和食ダムの完成予定は令和6年度末となっているが、ダム周辺の観光資源としての整備をどのようにしていくのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度頃に、県主催でダム事務所・企画振興課・住民との“地域と共に芸西村の明日を考える会”（仮称）という会があり、ダム周辺の遊歩道、植樹などの整備に関する事の話し合いが行われていた。3年後にはダムが完成することとなるので、その話し合いを活かしていくのか。 <p>○ ダムと琴ヶ浜までの距離が近いという地の利を活かし、琴ヶ浜の活用も同時に考えるべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近車で旅行する人の中では、車中泊をする人の数が、コロナの影響もあり増加傾向にあると聞いている。全国的にRVパークも増えているそうだが、RVパークに必要な入浴施設や食事ができる所が近くにあり、琴ヶ浜は最適だと思うがどう考えるか。 ・ 令和7年には、東部自動車道も芸西西インターまで開通する予定になっているが、今から準備をして、芸西村に多くの観光客に来てもらうようにするにはどうしたら良いと考えるのか。 <p>以上の点について村長の考えを問う。</p>	村 長
松坂 充容	国保税の子ども均等割保険料の軽減について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国は2022年度から未就学児の均等割保険料軽減の方針のようなのだが、どのように評価するのか。 ・ 実施にあたって、国は村に4分の1負担を求めているが、その額はどのくらいか。当村ではどのように対応するのか。 ・ 対象範囲を未就学児に限定せず拡大してはどうか。 	村 長